

# 42 破天荒

令和 元年度版  
創刊  
第十九号

## 一学期中間考査終わる

天皇陛下の即位とともにあった、長い十連休が明けて迎えた、令和初の定期考査。その取り組みはどうだったでしょうか。学年も進み、文系・理系に分かれての考査となり、一学年での考査とは違った感覚で取り組んだとは思いますが、何故そう言い切れるか。後述しますが、中間考査前に行った生活実態調査では、昨年度三月に行ったものとは、皆さんの意識が明らかに変わった結果を見ることができました。

### 心が変われば行動が変わる

今までも何度か聞いたであろうし、取り組んだ人・取り組ま続けている人もいます。では、その変わった行動から結果を引き出すには何が必要か？

### 変わった行動を持続せよ

皆さんは、結果を急ぐ傾向が強いです。やったことは必ず、結果がすぐについてくると思っていないませんか。どうか、今、自分を変えようとしている気持ちを、行動を大切にしてください。

中間考査に向けて始めたことはきっかけです。そのきっかけを生み出すには大きなエネルギーが必要で、かつ、即効性を持って、この考査で目に見える結果まで辿り着くのは至難の業だと思います。では、今回の考査をきっかけに変身した各々の姿、各々の行動は、切り捨てて良いのでしょうか。

### 何のための 何に向かっていくための努力か

数字はもちろん大切です。それにこだわってこそ、自分の進路計画が具体化されて、自分の行動の勇氣になっていきます。

### この一つに

こだわって、追求して、自分探究をやり遂げたときに、「二年生のあの時が、きっかけやったな」と思えるように、日々の小さな積み重ねを、大切にしてください。

今年は、学年集会で、できる限り校歌を唄おう。その唄声から発信されるエネルギーが、皆さんの相高への想い、信頼を表すバロメーターだと思います。

去る 5 月 18, 19 日に沖縄で行われた日本土壌動物学会に、自然科学コース(5 組)の脇村涼太郎君が参加して、最優秀ポスター賞を受賞しました。企画、準備等、考査前にも係わらず大変だったと思います。ただ、その困難を負ってでも、自分の学びたいことのために挑戦しました。何か一つにこだわるができるということは、大きな武器です。

県総体を戦った、あるいは、控えている運動部、野球部、文化部の人たちへ。若い力を爆発させて、時間を工夫した生活を心掛けて、3 年生からしっかりと、相高各部への想いを引き継ぐ、貴重な時間を過ごしてほしい。

おめでとう&頑張ろう!

## 冬季に地中トラップで得られた節足動物群集

脇村涼太郎 (兵庫県立相生高等学校)

**まとめ**  
地中トラップによって得られた節足動物群集を季節間(夏季と冬季)で比較したところ、冬季においてトビムシ類、ヒメヤスデ類の個体数が多かった。このことから、冬季では夏季と地中内の節足動物群集が変化している可能性が示唆された。また、地中性種、地表性種は地表からの深さや罫サイズで個体数割合に変化はみられなかったことから、生息範囲が地中深くまで及んでいる可能性が示唆された。

**背景**  
地下(地下浅層)に生息する生物を捕獲するための罫である地中トラップが開発される(吉田, 2012; 原, 2015)

**手法**  
【調査時期】2018年4月から8月, 2018年12月から3月  
【調査地】兵庫県佐用郡佐用町のガレ場  
【調査方法】夏季は10基, 冬季は13基地中トラップを設置。冬季では回収時に、地表からの深さトラップ周辺の罫サイズを計測



調査を行った佐用郡のガレ場

目的が退化するなどの特化した生物の発見(小松, 2018) 地中性節足動物の研究が盛んにおこなわれるようになった

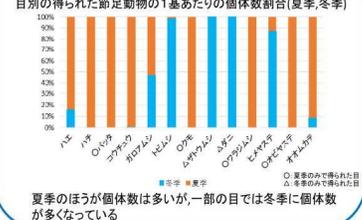
冬季に地中トラップを用いた例はほとんどない

明らかにすること

- ・冬季に地下に生息している節足動物相
- ・季節間(夏季と冬季)での節足動物相の違い
- ・冬季に地中に生息する節足動物が好む深さ、環境

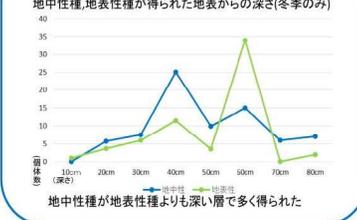
**結果および考察** 計6綱13目24科3471個体(夏季), 計4綱9目10科220個体(冬季)の節足動物を採集し、地中性種と地表性種に判別。季節データ、深さ、罫サイズを用いて比較を行った。

1. 冬季と夏季で節足動物相に変化はあるのか?  
目別の得られた節足動物の1基あたりの個体数割合(夏季, 冬季)



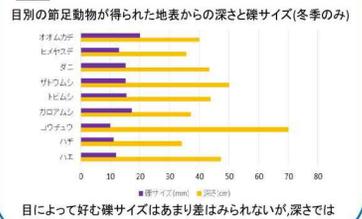
夏季のほうが個体数は多いが、一部の目は冬季に個体数が多くなっている

2. 地中性種と地表性種で好む深さはちがうのか?  
地中性種、地表性種が得られた地表からの深さ(冬季のみ)



地中性種が地表性種よりも深い層で多く得られた

3. 地下に生息する節足動物はすみわけをおこなっているのか?  
目別の節足動物が得られた地表からの深さと罫サイズ(冬季のみ)



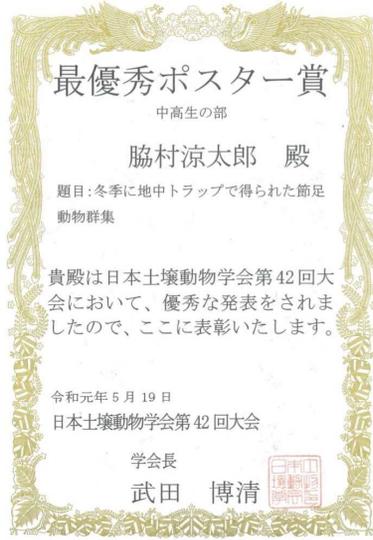
目によって好む罫サイズはあまり差はみられないが、深さでは差がみられた

**今後の課題**

- ・非動物性ベイトを用いた調査
- ・深さ、罫サイズのほかにトラップを設置した地点の湿度など、より詳しい環境データも記録
- ・同一地点での定量的な調査
- ・より短いスパンでのサンプリング

**参考文献**

吉田正隆, 2012. 地中トラップによる地下浅層性昆虫の採集法. 昆虫と自然, 47(5):6-12  
 長澤亮, 2015. 斜面土砂移動地における地中性節足動物相の解明. つばし生物ジャーナル, 14:14  
 小松貴, 2018. 日本の地下空間に生息する節足動物の多様性. タクサ, 44:39-51  
 Sasakawa, K. Ito, H., 2017. Two new species of the Pterostichus macrogenus species group (Coleoptera, Carabidae) discovered in shallow subterranean habitats in northern Honshu, Japan. Subterranean Biology, 21:47-56  
 酒井雅博, 2015. 地下浅層と昆虫. 昆虫と自然, 50(7):2-4  
 原有勲, 2015. 地下浅層性昆虫の採集方法-生体採集用トラップと掘り採集の併用. 昆虫と自然, 50(7):14-18



西播を勝ち抜いた人へ 頑張れ県大会

卓球部	男子 団体	(2 組男子) (4 組男子)	(4 組男子) (4 組男子)
	女子 団体	(1 組女子) (5 組女子)	(5 組女子) (5 組女子)
陸上競技部	ダブルス 走幅跳 800m 7 種競技		(5 組女子) (2 組男子) (2 組男子) (1 組女子)
ソフトテニス部	男子 個人		(4 組男子)
	男子 団体	(4 組男子)	(4 組男子)
	女子 団体	(2 組女子) (5 組女子)	(4 組女子)
剣道部	男子 団体	(1 組男子) (3 組男子) (4 組男子)	(3 組男子) (3 組男子)
	女子 個人	(1 組男子)	(3 組男子)
	女子 団体	(1 組女子)	(4 組女子)
	個人	(1 組女子)	

## 5/15(水) 生活実態調査結果より

質問	1学年3月	2学年5月	備考
1 学校は楽しいですか	あまり楽しくない17名 楽しくない2名 計19名/195名	あまり楽しくない16名 楽しくない1名 計17名/198名	OK
2 楽しい理由が	勉強3名 部活動25名	勉強8名 部活動31名	期待
3 勉強と部活動との両立	出来ている17名 ほぼ出来ている70名	出来ている20名 ほぼ出来ている77名	応援
10 平均睡眠時間	6時間未満84名 5時間未満18名	6時間未満92名 5時間未満25名	??
15 スマホの使い方(帰宅後)	1時間未満139名 2時間以上19名	1時間未満155名 2時間以上10名	期待
16 家庭での平均学習時間	1時間未満72名 2時間以上44名	1時間未満54名 2時間以上64名	学習方法の提供
27 進路希望	難関国公立大学7名 国公立大学124名 難関私立大学5名	難関国公立大学9名 国公立大学124名 難関私立大学7名	集団の変化も影響 モチベーションの継続

5月9日(木)の学年懇談会の中でもお話させていただいた生活実態調査の中で、保護者の方にも是非ご覧いただきたい結果を、表にしました。

もちろん、順風満帆になったわけではありませんが、各自の心境が、進級・新クラスの雰囲気から何か変化をもたらされ、前向きに行動している様子がうかがえます。だからと言って、一頁に前述した通り、すぐに結果に結び付く、そんな簡単なものではありません。

だからこそ、いま起こっている変化を一過性のもにしないよう、また、線香花火の火球に見えたものが、気付けば聖火(成果)の炎となるよう、我々も、彼らのやる気を成長させていきます。

「やったのに」は、まだまだ未熟。「こうやればこんな結果なら、もっとこうしてやろう」という食欲さ。安定の炎なり、行動の停止では、変化は起こりません。

【変化】変わったことで、化けること。

積み重ね・振り返り・粘り強さ・しつこさが42 回生の特徴に上げられるようになるといいですね。

『ひたむきに ひたすらに』

## 保護者の皆様へ

最近、職員室で耳にしたことです。上級生で、有名予備校に入塾している生徒が多いようです。そのこと自体は、本人・ご家庭の強い意志があれば悪いことだとは思いません。ただ、塾は

利用するものであっても

支配されるものではない

このことは、肝に銘じてほしいものです。よく聞くのは、サテライトでどどんビデオ講習を進めているケースです。スピードラーニングならぬ、流れる映像の中で溺れている状況をよく聞きます。映像とともに、時は流れ、自分の中では学習が進んでいる気がするのでしようが、結局、授業以上に先をいっていることと酔い、いま学校でやっていることには、全く取り組めていない、知識としても残るものがない。残るのは、時間を費やしていることからくる「根拠のない自信」です。

改めて、

何が どう 分からないのか

何を どう 分りたいのか

それをはっきりさせていけば、効果的な塾の活用法になるでしょう。

「全然分からない」

この悪魔のささやきからの脱却を図ってください。全然・全くの裏に隠されている生徒の行動に気付いてもらえたらと思います。

Recently , I am worried about the thing  
what to recognize to the student 's effort  
of 42nd .

I should give priority to the mind whether  
"A" or "B" .

"A" is that "When in Rome,as Romans do".

"B" is that "It is a long lane that has no  
turning".

Now, It is the same level in my heart that

"To be or not to be, that is the question".

The sentences in June

## 6月以降の予定

月	日	予定
六月	三日(月)	公開授業週間・教育実習開始
	五日(水)	選挙出前授業
	六日(木)	内科検診(午後)
	八日(土)	土曜講座(午後)相高祭準備(予定)
	十二日(水)	除草作業(六限) 体操服準備
	十四日(金)	内科検診(午後) 午後相高祭準備(予定)
	十五日(土)	GTEC検定(希望者)
	十九日(水)	全員清掃
	二十日(木)	リハール(放課後)
	二十一日(金)	リハール(午前)
	二十二日(土)	相高祭(午後) 教育実習終了
	二十四日(月)	相高祭(午後)
	二十六日(水)	期末考査一週間前
七月	三日(水)	期中考査一週間前
	九日(火)	期末考査
	十日(水)	職業ガイダンス
	十一日(木)	球技大会(四十二回生生徒会主体)
	十二日(金)	午前中授業(1・2・3・4限)
	十三日(土)	挨拶運動
	十五日(月)	ベネッセ記述模試
	十七日(水)	海の日
	十九日(金)	GTECアセスメント(3・4限)
	十九日(金)	終業式・大掃除
	二十日(土)	保護者懇談会(除く土日)
	二十二日(月)	夏休み前期補習(全員)
八月	十九日(月)	後期補習(希望)
	二十七日(火)	全統記述模試(希望者)
九月	二日(月)	二期期始業式・大掃除
	三日(火)	校内実力考査
	四日(水)	校内実力考査
	八日(土)	土曜講座
	十日(月)	体育大会予行
	十一日(火)	土曜講座

変更もあり得ますが、この予定で考えてください。

次年度へのイメージを持っておいってください  
3 年中期補習(主に、難関校受験希望者)  
今年度は、七月三十日(火)〜八月二日(金)まで